

⑤ 2024年問題への取組みについて

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S & N	朝日梱包
新たに取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部と連携し運行プロジェクトチームを立ち上げ（ミーティング実施5/30・6/8） ・前回ドラレコ入出庫データで16時間超過の運行便を洗い出し20便プラス2便の合計22便の超過する原因を店所と共に分析 ・分析した結果をミーティングで協議・共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・所定休日出勤（週40時間超）の削減 適正人数を増員し、班内で交代要員を確保することで、出勤せざるをえない所定休日を月あたり1日以上減らす ・課題の洗い出し SDに限定せず、他職種も含めて改革を行うことでSDの業務負担を軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・月次で開催しているコンプライアンス会議（本社関係者・エリア統括・ブロック長・店所長参加）において <ul style="list-style-type: none"> ・拘束時間 ・運転時間9時間超（2日平均） ・連続運転時間4時間超について前月の結果と取組み内容の検証 ・デジタコによる正確な労働時間と運行内容、業務実態の把握を、デジタコ記録で一元管理、時間管理の簡素化と効率化も図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終荷渡し時間を早めることで、待機時間・労働時間の削減 ・17:30最終荷渡し時間を17:00へと短縮 →倉庫における作業完了時間を前倒しし、荷物の出来上がりを早くすることで、引き渡し時間を早める 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日出荷商品は、15時を目安に作業を完了させる ・完成した商品をパレットに積みむ際に、STC東京支店の発送路線バス別に仕分けを行い、集荷帰店後の仕分け作業の短縮が出来るように出荷側と してできる事を行う
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果から各乗務社員の出勤時間に統一性が無い事が課題として浮き彫りとなった ・課題への今後の取り組み ダイアグラムを基に店所に16時間超過便を含む運行便毎の出勤時を再度設定（6/13に店所長とのZOOMミーティングを開催し、その中で16時間超過便を再度検証） 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募数が伸びておらず、募集方法等を検討している ・配達先での待機や荷扱い 別途料金（荷受人へ請求）を交渉し 備車を活用できるか検討 ・夜勤者の業務改革 SDが積み込みしやすい状況を作る ・事務職員 SDをサポートする時間を捻出できるかどうか、業務週報（日報）の分析を行っている段階 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年5月度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・16時間超 29回 ・15時間超過 2回 週2回以上 4回 ・運転時間9時間超過 2回以上 9回 ・連続運転4時間超 2回 ・5月は台風等による道路事情で時間超過の影響があった ・管理者・乗務員双方の管理体制は進んでおり、コンプライアンス違反はゼロに近づく傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ・集荷ドライバーの荷待ち時間の削減 ・荷渡しが早く終わることで、ドライバー自身の作業時間の短縮へと繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京支店路線バス1F分・3F分の仕分けを行い、シューターを使用できる商品についてはAライン・Bライン別に仕分けをしてパレットに積み引き渡すことで、帰店後の作業時間短縮に貢献 ・方面別に出荷できる商品については着店別にパレット積を行い、仕分け作業の軽減を図る